

繋ぐ心 やり投げ歴代3位へ

★歴代3位 をマークした昆野

私と石上は、県大会3日目男子やり投げを応援していた。入賞ラインで昆野大成が戦っている。50mスロワーなので入賞ラインにいるのだ。

2投目を終えて50mにわずかに及ばず、現在10位あたり・・・我々はあと少し・・・と願っていた。

3投目を前に、何やらスタンドからアドバイス。

その直後、彼は50mを大きく越える会心の一投を放ったのであった。

記録は！？・・・

54m50の好記録をマークした！！

8位入賞を決めた。

昆野大成が春高歴代3位の54m50を県大会決勝でマークしたのであった。

陸上で前年比較は意味がないが、今年のやり投げ県大会6位が52m87で関東を掴んでいる。昨年は大野 誠尚が砲丸で7位、鈴木 陸がハンマーで7位と入賞を果たしている。関東の6位には惜しくも届いていないが、春陸は安定して投擲入賞を続けている。

★黒須（歴代2位）が指導

現在春高は、9年前卒業した黒須がやり投げを見てくれていた。

黒須は60mに迫った歴代2位のスロワー。私は当時の宇都宮関東に応援に行ったので、試合当日の様子を鮮明に覚えている。ドシャ降りの中、黒須は決勝で見事にイン



ターハイの切符を掴んだのだった。
関西の大学に行っていた彼の自己ベストは67m38。
関西インカレは6位入賞するほどの実力者。
今は帰郷し、休みの日に後輩の指導をしてくれている。
やはり同じ環境でトレーニングを積んだ先輩の指導とい
うのは選手にとっても心強いようだった。



3年生の昆野は新人戦から50m前後を投げ、入賞を期待されていた。現在は
休日に黒須が教えてくれる。今回の記録はまさにそんな環境がもたらした好記
録であった。

スタンドを見上げる昆野。黒須が熱心にアドバイスを送る。
次の一投で54m50がマークされた。
歴代2位の先輩が、後輩を歴代3位に引き上げた瞬間だった。



春陸は今年も奮闘し、多くの好記録が誕生した。

以下は春陸歴代20傑に到達したもの。

まだまだ2年生が多いので夏の国体一次、秋の新人戦が「楽しみである。

800m

入澤祐太 1'58"65(歴代15位)

1500m

打木耕平 4'06"46(歴代13位)

3000mSC

皆川和範 9'57"84(歴代20位タイ)

5000mW

小竹一毅 26'15"47(歴代20位)

やり投

昆野大成 54m50(歴代3位)

筆・撮 37回卒 野本順一

